

へ申出へ
前書ノ通ニ付期限經過ノ上ハ關係ナキモノトシ他へ公証
セシムヘキ旨有様々ヨリ通知有之候條此旨告示候事
明治十六年三月三日 東京府知事芳川顯正
○正誤 東京府甲第十二號布雜品費但書中(石炭運搬
代金三百圓トアルハ三十圓全局内需用費中諸帳簿費金
三百圓トアルハ三十圓ノ誤リ同項中上水賦金)ノ下金百
一圓ノ上ヨリ三十五圓雜費ノ六字ノ誤脱ス

時事新報

合本會社ノ用ヲ審カニス可シ

從來我邦ノ商工業ヲ營ムモノハ大抵一人一個ノ資金ヲ以
テ活動運轉シ全ク一家商業ニシテ合本商社ナルモノアラ
ズ隨テ其勢微弱ニシテ竟ニ廣大隆盛ナルヲ能ハザリシ然
ルニ明治維新ノ時ニ當テ社會ノ景況一變シ士農工商混亂
スル其際ニ外交愈開ケテ事物新テ競ヒ就中歐米諸國商工
業ノ廣大隆盛ナルヲ聞見シテ始メハ大ニ驚駭シ中コソ頗
ル之ヲ羨ミ終ハ之ニ模倣セントスルノ念ヲ生シタリ當時
皆以爲ラク此ノ如ク歐米ノ工商獨リ盛ニシテ我邦ノ工商
蒸非振ハザルモノハ彼ハ衆力ヲ以テシ我ハ獨力ヲ以テスル
コ由ルモノナラント是レ則チ結社主義ノ我邦ニ行ハレタ
ル起原ナリ蓋シ少額ノ金ト雖モ衆多ノモノヲ合スレバ巨
額トナリ一人ノ企テ及ブ可カラザルヲモ衆人相合スレバ
則チ大業ヲ起スヲ得ルハ理論簡短明白ニシテ人耳ニ入り
易ク殊ニ士族社會ノ學問アリテ事理ニ通スルモノ誰カ其
非ヲ唱フルモノアラント遠ニ協心戮力團結會合等ノ字面ハ
一時ノ流行トナリ其主義頗ル廣布シタルモノ、如シ是チ
以テ古風ナル一家商業者ノ頗ル非難スルニモ拘ラズ合本
會社ヲ創立シ工商ノ業ヲ營ムトハナリタルナリ是レ本
邦第一期會社起立ノ時代トス

爾後二三年ヲ經過スルコト及テ願テ結社商業ノ如何ヲ見レ
バ其實功ヲ奏スルモノ甚タ稀ニシテ隨テ起リ隨テ倒レ昨
ハ幾々堂々タル會社モ今ハ寂々寥々タル閉店トナリ今日
ハ意氣揚々馬車ニ鞭チタル社長モ明日ハ負債ノ爲メニ其
身ヲ容ル、ノ地ナキガ如キ頗ル醜態ヲ露ハシ甚タ憫ム可
ク甚タ笑フ可キモノト成行タリ斯ル事ノ有様ナルヲ以テ
古風ノ商法ヲ墨守スルモノハ果シテ我々ノ先見ニ違ハズ
トテ自己信スル所ノ方法ヲ以テ愈完全ナルモノトシ頑乎
トシテ復タ變移ス可カラザルコトハナリタルナリ加之ナ
ラズ一般ノ人民モ會社ヲ信用スルコト自ラ薄ク甚ダシキハ
之ヲ危險ノモノトシテ恐怖ノ念ヲ抱クニ至リ一時會社ノ
名聲ハ地ニ墜テ復タ起ラス竟ニ本邦廣大ノ事業ハ復タ
望チ屬ス可カラザルモノ、如シ是レ第一期會社顛覆ノ時
代トス

余輩第一期會社顛覆ノ景況ヲ觀察スルニ決シテ會社ノ弊
ニアラズ蓋シ其主義未ダ本邦ニ普クアラズシテ經營熟練ノ
人ニ乏シキト組織方法整ハズシテ管理其宜チ失シタルト

由ルモノト謂ハザル可ラズ凡ソ社會ノ進歩未ダ十分
ラザル時ニ方リ獨リ自ラ突進スルモノハ社會ト相俾
能ハズシテ自然損失ヲ招クハ勿論コシテ殊ニ會社ノ事
從ヒシ者ハ大抵士族ノ輩ニシテ商工ノ事務ニ慣レズ理論
常ニ勝テ實業之レニ伴ハザル人ナリ加フルニ組織方法モ
未ダ整ハズシテ管理其宜チ失スルモノ多キヲ以テ之一
家商業ノ經驗熟練アルモノコト比スレバ一步ヲ讓ラザルチ
得ズ且一家商業ハ組織方法完カラザルモ多年勤績ノ雇人
ニシテ恩顧アルモノナレバ仮令方法ニ缺點アルモ情實チ
以テ彌縫スルチ得ベシト雖モ會社ハ大抵他人ノ寄合ニシ
テ規律ノ以テ之ヲ檢束スルコトアラザレハ其目的ヲ全クス
ルヲ能ハザルヤ明ナリ然ルニ士族輩ノ寄合其外面ノ禮儀
ニハ規律アルモ實際ノ商業ハ常ニ杜撰ニシテ漠然タルモ
ノ多シ甚ダシキハ簿記ノ法チ未ダ十分ナラザルチ以テ
出納損益モ一目瞭然タルヲ能ハズシテ社員ノ疑念發生ス
ルチ致シ或ハ會社ノ役員正直ノ心ヲ以テ不正直ノ事チ行
ヒ或ハ故チラコ不正ノ所業チ犯シタル者モ頗ル多シト聞
ク之ヲ要スルニ歐米會社ノ形ヲ摸シテ精神ヲ傳ヘザルモ
ノナレバ其活動發達隆盛ヲ致スチ得ザルモ亦謂レナキコ
非ズ畢竟精神ハ人ニ存スルモノニシテ其神ヲ得ザルハ人
ノ驕ナリ然ルニ世人或ハ人チ谷メスシテ罪チ會社ニ歸シ
遂ニハ其名チモ厭惡スルニ至リシハ會社ノ爲ニ亦冤ナリ
ト謂フベシ

然リト雖モ會社ノ破産事實相違モナキコトナレバ實業家ハ
大抵合本會社ヲ非難シ殆ト之ヲ度外ニ置テ復タ顧ル者モ
ナキハ勢ノ當サニ然ル可キモノト云ハサルチ得ズ此際ニ
於テ獨リ學者流ノ人ハ尙結社商業ノ要ヲ説クニ忘ラズ愈
説テ愈深切極ノ其主義漸ク一般ニ普及シ又續テ國立銀
行條例ノ頒布アリテヨリ其組織方法モ粗一定整理スルチ
以テ初メハ之レヲ檢束セラル、ノ憾アリシモ各銀行ノ破
産ヲ免レタルハ半ハ條例ノ賜ト云ハザル可ラザルナリ此
ヨリ疑或恐怖ノ念漸ク晴レ會社又將サニ大ニ興ラントス
之ヲ會社再興ノ時代トス

爾來會社ノ行ハル、獨リ銀行事務ニ止マラズシテ其區域
漸ク廣ク荷クモ工商ノ諸業ニ從フモノハ其社ノ大小ニ拘
ラス其業態ノ如何チ同ハズ一モ會社ニモ會社凡ソ世間ノ
商法工業、會社ニアラザレバ其事ヲ營ムコト能ハザルモノ
、如クニ思惟シ仮令ヒ一家一人コト容易ニ營ミ得ベキ事
業モ會社ノ法ニ由ラントシ現ニ近來流行ノ會社ヲ見レバ
僅々二三千圓ニ足ラザル資本モ亦之ヲ合資ノ法ニ取リ其
業チ同ハバマツテ製造、陶磁製造、織機、酒造、印刷、新聞
等ニシテ蓋シキハ小賣ニ屬スル餅、味、醬油ノ會社ア
ルニ至リ其會社アラザルハ獨リ料理屋賃坐敷ノト謂フ
モ亦頗高ニアラザル可ラズ結社主義ノ普及シタルハ頗

寄贈本

ル喜ブ可キカ如クナレハ退ヲ熟考スレハ退レ世ニ益ニ...

雑報

(未完)

朝鮮事情 竹添公使の赴任以來朝鮮國の情況... 御禮 皇子明宮皇女滋宮全増宮の御三方より...

參事院裁定書ノ續キ

本件縣令ト縣會トノ間ニ於テ法律ノ見解ヲ異ニスルノ要點ハ縣令ハ地方稅規則第四條ニ依リ...

右ノ理由ニ因リ縣令ハ縣會ノ議定ヲ經スシテ豫算外ノ支出ヲ爲スコトヲ得ズ...

明治十六年二月廿二日

Table with 3 columns: Position, Name, and other details. Includes 審理委員長 田中不二磨, 審理委員 水本 成美, etc.

大砲射の大會 陸軍大砲射の會を越中島於て催はさる、よし前號へ記せしが愈明四日と定ま...

軍艦乗組

軍艦乗組員ハ少佐長大佐或ハ中佐副艦長ハ少佐六十五人...

英艦新造軍艦

昨年中佛國ニ艘おして一ハフホードロイン三十九噸一ハゾホーパン號...

填地利軍艦

伊太利國の軍艦無比の堅固にして英佛の軍艦より其業に着手し同場の額を議決して三年間...

別報朝鮮近事

昨日の續) 別報朝鮮近事(昨日の續) 別報朝鮮近事(昨日の續)...